

広報いしかわ

Ishikawa Prefecture



【ほっと石川】
1月9日(土) PM5:15~5:30
「冬の能登ふるさと博」



【ぶんぶんセブン】
1月17日(日) AM7:00~7:30
「いしかわの地場ものを食べよう」



【県からのおしらせ】
毎週火・金曜 PM2:30頃(3分間)



【素敵にモーニング】
毎週日曜 AM9:55~10:00



毎週金曜日、お得で役に立つ情報を配信!!
登録はこちらから

https://ishikawa-mmag.com



ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/> Eメール e130500b@pref.ishikawa.lg.jp 行政相談 ☎076(225)1100

県政この1年 ～「成就」の年～



北陸新幹線長野—金沢間の開業

3月14日、北陸新幹線長野—金沢間が開業し運行が開始されました。



北陸新幹線金沢開業効果の 県内各地・各分野への波及

〈県下全域でのイベントの開催〉

開業にあわせ、県内各地の伝統芸能の実演や和装姿による出迎えなど、石川らしいおもてなしで首都圏などからのお客さまを歓迎するイベントを開催。また、開業効果を県



下全域へ波及させるため、各地の観光資源を活用した広域イベントや天皇皇后両陛下をお迎えして開催した「第66回全国植樹祭」など、全国的なイベントを開催しました。



〈受け地の魅力づくり〉

北陸新幹線の開業にあわせ整備を進めてきた、金沢城公園の橋爪門と玉泉院丸庭園が完成しました。また金沢駅の観光案内所をリニューアルオープンし、当日宿泊予約や手荷物配達などの新たなサービスを提供するなど、利用者の利便性向上を図っています。

〈戦略的誘客対策の推進〉

松任谷由実さんを石川県観光ブランドプロデューサーに委嘱。松任谷さん作曲の「ひゃくまんさん小唄」をバックに、県内の観光地や自然などの魅力を織り交ぜた動画を制作・発信しました。

〈陸・海・空の交流基盤の整備・活用〉

能越自動車道七尾氷見道路が全線開通となり、また、金沢外環状道路海側幹線(大友町～大河端町間)の4車線化が完成したほか、白山スーパー林道の愛称を「白山白川郷ホワイトロード」に改め、通行料金を半額に引き下げました。さらに、金沢港発着型の定期周遊クルーズの運航が日本海側で初めて決定しました。小松空港では駐車料金を大幅に引き下げ、航空利用を後押ししました。

いしかわの優れた文化の継承・発展

歴史博物館の愛称を「いしかわ赤レンガミュージアム」とし、リニューアルオープン。また、石川の豊かな文化の継承・発展と新たな文化の創造に向け、「いしかわ文化振興条例」を制定し、120億円のいしかわ県民文化振興基金を創設したほか、「いしかわ文化の日」(10月の第3日曜日)を定めるなど、県民の文化に親しむ機会の充実と文化意識の向上を図りました。



県民生活の安全・安心の確保・推進

〈防災対策の強化〉

白山における噴火警戒レベルを設定し、具体的な対応などを盛り込んだ白山火山防災計画を策定しました。また、国の設置要件の改正に従い、志賀オフサイトセンターを、志賀町西山台へ移転し、運用を開始しました。

〈医療・福祉の充実〉

老朽化した県立中央病院の建て替えに向けた建設工事が始まりました。また、食の安全・安心の確保に関し、施策の基本となる事項等を定めた「石川県食の安全・安心推進条例」を制定しました。

〈市町水道事業への支援〉

水道水の供給では、責任水量を引き下げることにより市町水道事業への支援を行いました。



「いしかわ創生人口ビジョン」 および「いしかわ創生総合戦略」の 策定と進展

地方創生に向けて、人口の50年後の将来展望を示す「いしかわ創生人口ビジョン」と、今後5年間の具体的な行動計画である「いしかわ創生総合戦略」を策定しました。

いしかわ創生人口ビジョン

人口減少対策を進めることにより、国の推計では現在の3割減とされている2060年の本県人口を、2割の減少に抑え、93万人の確保を目指します。

いしかわ創生総合戦略

人口減少に歯止めをかけるため、結婚・出産・子育てへの支援や、東京に集中する人の流れを石川へ向ける取り組みなど、自然減対策・社会減対策の両面から、地域に活力をもたらす具体的な取り組みをまとめています。

多様な人材をひきつける魅力ある雇用の場の創出

〈大型の企業立地が実現〉

(株)ジャパンディスプレイが、過去最大規模となる約1700億円を投じて中小型液晶ディスプレイの増産を目的に新工場の建設を決定したほか、NGKセラミックデバイス(株)が自動車排ガス中の有害物質を測定するセンサーの基幹部品の生産、(株)金沢村田製作所が携帯電話やスマートフォンの基幹部品である表面波フィルタの生産のため、工場の増設を表明しました。

〈本社機能の立地促進〉

本社機能の移転を促すため、本県独自の補助制度や県税の優遇制度を設けました。(株)JOLED(ジェイオーレド)、日機装技研(株)、(株)アクトリーの3社が、県内への研究開発拠点の立地を決定し、制度を初めて適用することとしています。

〈次世代産業の創造〉

炭素繊維複合材料の一大生産・加工地域の形成に向け、ドイツの研究開発拠点である「CFKバレー」と本県の革新複合材料研究開発センター(ICC)との間で人材交流、技術交流に関する連携協定を締結し、CFKバレーで県内企業との技術交流会を開催しました。

〈小規模企業への支援〉

「ふるさと石川の地場産業を担い地域経済を支える中小企業の振興に関する条例」を制定し、中小企業のさらなる発展を促進することとしました。



県内就職・移住定住の支援

県外へ進学した学生に、県内企業の就職情報を直接提供してもらうことを柱とした就職支援協定を、立命館・龍谷・東海・京都女子・神奈川・同志社大学と締結しました。また、日本郵便(株)と移住・定住人口の確保に関する協定を締結しました。

スポーツにおける功績

スポーツ分野で顕著な成績をあげ、本県の名を高める業績があった個人や団体の功績をたたえる「石川県スポーツ特別賞」を創設し、星稜高等学校サッカー部および松本薫選手(柔道)に授与しました。

●平成27年の主なあゆみ

1月～3月

- 北陸新幹線金沢—敦賀間の完成・開業時期の3年前倒し決定(1月14日)
- 石川県スポーツ特別賞を創設(1月19日)
- 県内就職支援に関する協定締結(立命館・龍谷・東海:1月30日、京都女子・神奈川:7月13日、同志社:12月21日)
- 能越自動車道七尾氷見道路の全線開通(2月28日)
- 金沢外環状道路海側幹線(大友町～大河端町間)4車線化の完成(2月28日)
- 金沢城公園 橋爪門・玉泉院丸庭園の完成(3月7日)
- 金沢駅観光案内所がリニューアルオープン(3月9日)
- 北陸新幹線長野—金沢間の開業(3月14日)
- いしかわ百万石・金沢祭り・加賀祭り・能登祭りを開催(3月14日～5月31日)
- IRいしかわ鉄道の開業(3月14日)
- 松任谷由実さんの石川県観光ブランドプロデューサー就任(3月16日)
- 新県立中央病院建設工事に着工(3月22日)
- 「いしかわ文化振興条例」を制定(3月23日)
- 「ふるさと石川の地場産業を担い地域経済を支える中小企業の振興に関する条例」を制定(3月23日)
- 「石川県食の安全・安心推進条例」を制定(3月23日)
- 「石川県介護・福祉人材確保・養成基本計画」を策定(3月25日)
- 「いしかわエンゼルプラン2015」を策定(3月25日)
- 連続テレビ小説「まれ」放送開始(3月30日～9月26日)
- 日本郵便(株)との移住・定住人口確保に関する協定締結(3月30日)

4月～6月

- 水道用水供給事業の責任水量を引き下げ(4月1日)
- 歴史博物館が「いしかわ赤レンガミュージアム」の愛称でリニューアルオープン(4月17日)
- 「灯り舞う半島 能登 ～熱狂のキリコ祭り～」が日本遺産に認定(4月24日)
- 観光列車との鉄道「のと里山里海号」の運行開始(4月29日)
- 七尾港矢田新地区耐震強化(旅客船)岸壁の供用(5月1日)
- 第66回全国植樹祭を開催(5月17日)
- 白山スーパー林道の愛称を「白山白川郷ホワイトロード」に改め、通行料金を半額に引き下げ開通(6月25日)
- 白山火山防災計画を策定(6月29日)

7月～9月

- 新オフサイトセンターの運用開始(8月3日)
- 石川県防災総合訓練を実施(9月6日)
- 日本スポーツマスターズ2015石川大会を開催(9月18日～22日)

10月～12月

- 北陸デスティネーションキャンペーンを開催(10月1日～12月31日)
- JR七尾線「花嫁のれん」の運行開始(10月3日)
- 大沢・上大沢の間垣集落景観が国重要文化的景観に選定(10月7日)
- CFKバレーとICCの連携協定締結および技術交流会を開催(10月12日、13日)
- ミラノにおいて石川の食文化提案会を開催(10月16日)
- 「いしかわ文化の日」制定記念イベント、「いしかわ文化推進期間」に県内各地で文化イベントを開催(10月18日～11月3日)
- 「いしかわ創生人口ビジョン」および「いしかわ創生総合戦略」を策定(10月30日)
- 石川県原子力防災訓練を実施(11月23日)